

実践『ペルソナ』通信 (No. 59)
「デザインによる購買意欲」に関する調査結果
～女子大生 100 人に聞いた「衝動買いの価格」*Ranking*～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、女子大学生を対象に、「衝動買いにおける平均価格」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は 100 サンプルでした。

その結果をランキング形式で、1 位から 10 位までを発表します。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「マーケティング（担当：斎藤明）」、「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、の 3 つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

女子大生 100 人に聞いた「衝動買いの平均価格」ランキング

1	5,000 円以内	18 票
2	3,000 円以内	17 票
2	2,000 円以内	17 票
4	1,000 円以内	16 票
5	パケ買いや衝動買いはしない	8 票
6	1 万円以内	6 票
7	8,000 円以内	2 票
7	6,000 円以内	2 票
7	500 円以内	2 票
7	200 円以内	2 票

今回の調査結果から女子大学生がパッケージなどの見た目に惹かれて購入する際に基準としている価格は、1 位～4 位の票数にあまり差がみられないことから、1,000 円～5,000 円と幅広いことがわかった。またジャンルを問わずに衝動買いを行う人がおよそ 6 割、洋服や化粧品など、特定のものに対して基準の価格を決めている人がおよそ 3 割であった。

1 位～4 位に関しては、ジャンルを問わずに衝動買いやパケ買いを行うと回答した人がそれぞれ半数を占める結果となった。5,000 円や 1 万円などある程度の金額であっても見た目などに惹かれ、衝動買いを行う人が多いことから、質と同様、またはそれ以上に商品のビジュアルが重要なのではないかと考える。

(1) 1位：「5,000円以内」。

衝動買いやパケ買い（パッケージ買い）を行う際の平均価格として、もっとも多かった回答が「5,000円以内」という回答であった。ジャンル問わずに5,000円以内と回答する人が多い中、特に洋服や化粧品、アクセサリ等に対しては5,000円以内であれば衝動買いをすると回答した人が多かった。女子大生にとって、これらのジャンルに対して、安いと感じる平均価格が5,000円であると考えられる。

(2) 2位：「3,000円以内」

3,000円以内と回答した人の中でも、「ジャンルを問わない」と回答した人が半数以上を占めた。次に「洋服であれば3,000円以内までなら衝動買いを行う」と回答した人や「雑貨であれば3,000円以内」と回答した人が多い結果となった。中には、「ディズニー関連は3000円以内であれば即決する」といったように、特定のジャンルに限定をしている人も存在することがわかった。

(3) 2位：「2,000円以内」

2,000円以内と回答した人の中でも、「ジャンルを問わない」と回答した人が半数以上を占めた。洋服、化粧品、本、食べ物など、様々なジャンルにおいて2,000円以内であれば衝動買いを行う人が多いということが分かった。「〇〇だったら～円まで」という限定した回答が最も多かったのが2,000円以内であった。

(4) 4位：「1,000円以内」。

「ジャンルを問わない」という回答が最も多かったのが、1,000円以内であった。それ以外では、CDやお菓子、食べもの等に対して1000円以内であれば、見た目やジャケットに惹かれて購入するという回答がみられた。

(5) 5位：「パケ買いや衝動買いはしない」。

パッケージなどによる衝動買いは行わないという意見も多数みられた。「金額や見た目ではなく、買って後悔しないかどうかを判断基準としている」という回答や、「値段を重視し、元値より安くなっている場合に購入する」といったように、衝動買いをしない理由は様々であった。見た目、金額、質など何を重視するのかによって購買行動が異なることがわかった。

(6) 6位：「1万円以内」。

「ジャンルは問わない」という回答が多い中、古着やDVDなどの映像作品に対しては1万円以内という回答がみられた。好きなブランドや映像作品の平均相場を考慮した価格設定であると考えられる。

(7) 7位：「8,000円以内」「6,000円以内」「500円以内」「200円以内」。

少数派ではあるが、「8,000円以内」、「6,000円以内」という回答があった。これは、5,000円以上の衝動買いやパケ買いはするが、1万円前後であると衝動で買うことはためらい、一度考えて購入していることがうかがえる。このことから、女子大学生にとって、5,000円という値段は買いやすいのではないかと考えられる。

同票数である「500円以内」という回答では、お菓子やアクセサリなどが挙げられていた。

また、「200 円以内」という回答に対しては、2 票ともに「お菓子であれば 200 円以内」という回答となっていた。

お菓子や食べ物などの短期間で消費してしまうものや、アクセサリなどの流行に左右されやすいものはリーズナブルな値段であれば購入する人が多いのではないかと考えた。失敗した際のリスクを考慮した値段であると考えられる。

(8) ランキング圏外。

「3 万円」「2 万円」「好きなものに対してはお金を惜しまない」などの少数意見もみられた。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：女子大学生 1-4 年生【19 歳】8 人 (8.0%) 【20 歳】31 人 (31.0%) 【21 歳】52 人 (52.0%)
【22 歳】8 人 (8.0%)
2. 調査方法：調査票調査
3. 調査期間：2017 年 12 月 ~2018 年 1 月
4. 有効回答者数：100 人

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会
3 年 萬羽なつみ